

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

| | |
|-------|---------------|
| 制作団体名 | 有限会社 ショーマンシップ |
| 公演団体名 | 劇団ショーマンシップ |

| 内容 |
|--|
| <p>各学校の状況に合わせて、以下の2つのパターンにて対応。</p> <p>I. 《オンラインで実施の場合》</p> <p>ミーティングアプリを使用し、オンラインでの実施。</p> <p>① ストレッチ 劇団員による指導のもと、一緒にストレッチを行ってもらう。</p> <p>② 作品紹介 脚本・演出家の市岡により、写真や映像を使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。</p> <p>③ 参加シーンの稽古 カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】の歌に合わせて、座ったままできる踊りの振付を出演俳優の指導のもと、全員で行う。 ※ワークショップ後も昼休みの校内放送や音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。 (学校側へ、CD・振付動画をお渡しします。)</p> <p>④ 芸にチャレンジ 劇中に演じられるパントマイムを指導。実際に体験する。</p> <p>II. 《動画での場合》</p> <p>作成した動画をYouTubeにて限定公開。または、DVDを学校に郵送。 ①～③の内容をそれぞれ10分程度にて作成。</p> <p>① 作品説明 脚本・演出家の市岡により、写真や映像を使って作品の時代背景などを、わかり易く説明。</p> <p>② 参加シーンの稽古 カジモドを応援する歌【勇気！自信！】とフィナーレで歌われる【ノートルダム】を出演俳優が歌う映像を見ながら、座ったままできる踊りの振付の指導を行う。 ※音楽の時間などでの練習を学校側に依頼。 (学校側へ、CD・振付動画をお渡しします。)</p> <p>③ 芸にチャレンジ パントマイミストによる劇中に演じられるパントマイムの実演と指導。映像を見てもらい、一緒にパントマイムにチャレンジ。</p> |



④ 出演俳優たちからのメッセージ

出演俳優たちによる、各学校の児童生徒さんへオリジナルのメッセージを送る。(各学校毎に個別で製作。)

タイムスケジュール (標準)

I. 《オンラインで実施の場合》

| | | | |
|-------|------|----------|---------|
| 5分 | 10分 | 5分 | 10分 |
| ストレッチ | 作品紹介 | 稽古参加のシーン | 芸にチャレンジ |

※ あくまで一例です。

学校毎にタイムスケジュールを作成。(各学校に適したタイムスケジュールにて実施。)

II. 《動画での場合》

- ① 作品紹介 (15分)
- ② 参加シーンの稽古 (10分)
- ③ 芸にチャレンジ (10分)
- ④ 出演俳優たちからのメッセージ (2分)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

I. 5名 (主指導: 1名 補助者: 4名)

II. 5名 (主指導: 1名 補助者: 4名) ※④はキャスト総出演

学校における事前指導

ワークショップは、それぞれの学校の教育方針に即したものとするため、担当の先生とワークショッププランナーが協議の上、児童・生徒さんに適した内容を実践。

また、参加意識を高める上でも、使用する合唱用のCDを事前に渡しておき、ワークショップ前までに児童・生徒さんに聴いてもらっておく。

IIに関しては、動画を送る際、一緒に楽曲のCDと振付動画のDVDを郵送する。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

| | |
|-------|---------------|
| 制作団体名 | 有限会社 ショーマンシップ |
| 公演団体名 | 劇団ショーマンシップ |

| |
|-----------|
| 演目 |
| ノートルダム物語 |

| |
|------------------------------|
| 派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください |
| 21名（キャスト16名 スタッフ：5名） |

| | | | | | | |
|---|-----------|-------|-------|----------------|-------|--------|
| タイムスケジュール（標準） | | | | | | |
| 午後公演 【13：30開演の場合】 | | | | | | |
| 9：00 | 12：30 | 13：30 | 14：30 | 14：40 | 15：30 | 17：00 |
| 搬入・仕込 | スタン バイ | 本番 | 休憩 | 本番・カーテンコー ル | 会場撤去 | 退 館 |
| ※ 公演中、下窓を開けるなどして換気。休憩中は、すべての扉を開けて換気を行う。 | | | | | | |

| |
|--------------------|
| 実施校への協力依頼人員 |
| 0名 |

演目解説

(あらすじ)

その容姿の醜さゆえ「カジモド（神のいたずら）」と名付けられた、ノートルダム大聖堂の鐘撞き男。彼はある時、ジプシーの踊り子エスメラルダに出逢い、恋心を抱く。

そんな折、カジモドの育ての親である将官ジェハンが「町の治安を脅かすジプシーたちを全て捕らえてしまえ！」と部隊長フィーバスに命じるのだった。悩むカジモド。なぜなら彼もジプシーの血を引いていたのだった。

兵士達から追われ、ノートルダム大聖堂に逃げ込んだエスメラルダを助け、匿うカジモド。

ついにカジモドは、ジプシーたちとともにジェハンに立ち向かうことを決意する。

その時、彼の出生の秘密が明かされる。そして、奇跡が起こる！

(みどころ)

2005年より15年間、多くの子供たちに感動を生んだ本作。

2017年にキャリア・スキルの高いスタッフのプランと指導の下、リニューアル。より芸術性の高い作品となる。

また、児童・生徒が興味を持って鑑賞できるよう、耳に残るオリジナルの楽曲を修練を重ねた俳優たちが歌い、踊る、熱い作品である。

劇中のジプシーのシーンでは、専門性の高い大道芸を披露する。

ヴィクトル・ユゴーの原作「ノートルダム・ド・パリ」の不条理さをしっかりと子供たちに伝え、その上で「生きる希望の物語」「小さな勇気が自分を変える物語」に脚色。

体育館が劇場になる本格的な舞台装置、時代背景を踏まえた衣装・小道具と視覚的にも優れ、調和の取れた総合芸術作品である。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

○歌に合わせた振付にて主人公を応援

主人公カジモドが困難に直面したシーンで、乗り越えなければいけない「心の壁」を全員で歌に合わせた振付にて応援。(歌「勇気！自信！」)

○フィナーレの歌に合わせた振付

物語のフィナーレを出演者、生徒、先生、全員で、歌に合わせた振りにて讃える。ワークショップで振付指導を行う。(歌「ノートルダム」)

児童生徒とのふれあい

○歌に合わせての振付

カジモドを応援する劇中歌「勇気！自身！」フィナーレの楽曲「ノートルダム」に合わせた振付を児童生徒さんに行ってもらいます。

ワークショップにて振付指導した後の上演までの期間も、音楽の時間などに練習してもらおうなどして、参加意識の向上を図ります。